

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)嵯峨天龍寺立石町計画	階数	地上2F
建設地	京都市右京区嵯峨天龍寺立石町1番、1番47、5番、5番9、5番10、4番2、4番13	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	79人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2017年12月15日
敷地面積	8,963 m ²	作成者	一般建築士事務所 株式会社 東洋設計事務所 松田 政也
建築面積	2,135 m ²	確認日	2017年12月18日
延床面積	3,202 m ²	確認者	一般建築士事務所 株式会社 東洋設計事務所 松田 政也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 建物周辺に豊富に緑地を配置することで、建物内からの良好な景観を形成している、又、開口部は高い遮音性能と豊かな採光を有し、利用者にとって快適な空間となっている。		その他 特になし
Q1 室内環境 住居の遮音性能を高め、室内の環境に配慮してF☆☆☆☆の建築材料を使用。	Q2 サービス性能 機能性・使いやすさに配慮した広い室内を採用	Q3 室外環境(敷地内) 景観地区、風致地区にあり、認定または許可を得ている。
LR1 エネルギー 高効率機器の採用	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、省水型便器を採用している	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=91%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される